



新星

Shinsei
2019 Vol.32

2019年11月22日 発行

医療法人 厚生会 道ノ尾病院「新星」Shinsei編集部
〒852-8055 長崎市虹が丘町1番1号
TEL 095-856-1111 FAX 095-856-4755

誌字：松本 寿美子



CONTENTS

- 2 新しい精神科医の紹介
- 3 歯科室のレントゲンの紹介
- 4 デイケアの研修旅行
- 5 連載② みちのおの職人さん
- 6 行動制限最小化委員会院内研修／秋祭りを終えて
- 7 研修会・学会に参加して
- 8 「ジャバネット」と就労支援事業所「かいこう」夢のタッグ

基本理念 患者第一主義

基本方針

- 挨拶と笑顔をもって皆様（患者・家族）に接します
- 疾病や治療に対して十分な説明と同意に基づき、患者本位の医療を提供します
- 患者の権利を認識し、尊重します
- 地域における責務を認識し、開かれた病院を目指します
- 職員研修を行い、常に研鑽に努めます
- 健全な病院経営に努めます
- 患者の社会復帰に努めます

《新しい精神科医の紹介》



精神科医
石川 敦子



皆さんはじめまして。2019年7月1日より道ノ尾病院で再び勤務しております精神科石川です。再びという言葉の意味がわかる職員さんもたくさんいらっしゃると思います。実は1993年から1998年まで5年と少し、道ノ尾病院内科で勤務しました。私は長崎大学医学部卒業直後に2年間、長崎大学で内科の研修を終了しました。そして研修終了後から道ノ尾病院に来る1993年までは私にとって”迷いの年月”を経験しました。この時期は、いろいろな面で自分の納得のいく様に生きていきたいと文字どおり手探りを繰り返した時期でした。今振り返ると、なんとまあ要領の悪いと思うのですが、その時は一生懸命だったのでしょう。

道ノ尾病院での5年間の内科勤務では、芹田副院長先生や当時おられた先生方にいろいろ教えて頂きました。そのうち、無事USMLEという米国の試験に合格し、精神科医になることをめざして1998年、米国に愛犬2匹を連れて渡りアイオワ大学病院精神科の臨床研修を始めました。これはひとえに現在医局におられる岡崎先生のご紹介の力であったのです。岡崎先生は以前アイオワ大学病院精神科で研究をされた経歴をお持ちでした。アイオワではびしびし鍛えてもらいました。アイオワ大学病院での当直の辛さと恐ろしさは今でこそ懐かしく思い出しますが当時は夕方5時当直が始まった途端に鳴り始めるポケットベルをととても恐れていました。時には本当に泣きたかったものです。なんせ一晩中忙しいのです。何はともあれ、無事にアイオワ大学病院で一般精神科の臨床研修と小児思春期精神科の更なる研修を終了しました。一般精神科の研修を終了した後ごく一部の人が小児思春期精神科の研修を受けることを選びます。子供やティーンエイジャーと話すのがおもしろかったという単純な理由から私はこのコースを選びました。一般と小児精神科あわせて5年間の研修でした。米国の研修制度はかなりしっかりして

いて、精神科医の技量と質の標準化が全国一般的に達成されているように思います。開業医の先生が大学の教官で大学に戻ってくるのもめずらしくありません。でも健康保険の制度は最悪に近いと思います。患者さんが置き去りにされて健康保険会社の利益が優先されています。日本の国民皆保険制度はすばらしい制度であることを日本を出てからあらためて認識しました。それと国が違っても人間の感情は同じだと思いました。怒り、喜び、嫉妬、野心、悲しみ、落胆、すべて同じだと思いました。

米国に合計20年余り住みましたがアイオワを後にしてから更に3つの州に住みました。その土地その土地で精神科医として病棟も外来も大人も子供もティーンエイジャーもと幅広い経験を積みました。20年の間の私の飼犬は合計5匹になりました。その過程で一般精神科と小児思春期精神科（精神科の中のひとつの専門領域とみなされています）の専門医資格もとることができました。

ただ、その資格は日本にそのまま移行できないのでとっても残念ではありますが。

最後の2年間はミネアポリスにあるミネソタ大学病院に付属しているフェアビュー病院で勤務しました。ミネソタはカナダのすぐ南にある州で、冬は冗談抜きで寒かったです。華氏マイナス50度を1日経験しました。その日は外を歩いている人がいませんでした。だから暖かい冬のコートをつくって持っています。南極に持っていけるようなコートもあります。でも長崎では全く役にたたないです。




2019年4月に日本に帰国して来ました。よくどうして帰って来たのと聞かれますが、色々な理由が重なりました。一番はやはり、家族がまだ健康な時に時間を一緒に過ごしておきたいということだったと思います。米国を離れる際に、私を日本に訪ねてくるからと言ってくれたお友達の言葉が本当に実現すればいいなと思っています。きっと長崎の道路の狭さと自動車の運転の難しさに目をむくと思います。それと新幹線に乗せてあげようとも思っています。

私の2回目の道ノ尾病院勤務です。20年前から知っている医師の皆様、看護師の方、事務の方、薬剤師さん、等たくさん知った顔に再び会えて嬉しいです。

私が生まれ育った長崎で、今度は精神科医として、また一日一日を大切にやって行きたいと思っています。どうぞよろしくお願い致します。

お口のことでも悩んでることはありませんか？

レントゲンがデジタル化し、さらに安心して丁寧に診察が出来るようになりました。

-  X - 線の被爆量が従来のレントゲン撮影の1/4から1/10程度になるため、より安心してレントゲン撮影ができます。
-  画像を現像する必要がないため、お待たせすることなく撮影画像をみることができます。
-  温度等環境に左右されることがなく、モニター上で鮮明な画像を拡大することができ細かい部分の診断にも役に立ち、また患者様と一緒にモニター画像を見ながら説明できます。



当院の歯科の特徴

- ・バリアフリーになっていますので、車椅子の方でも安心して来院して頂けます。
 - ・治療に関しては、治療内容を十分に説明し、ご納得頂いた上で治療を進めていきます。
 - ・長崎大学歯学部非常勤医師が勤務しており、より専門的な治療を提供することができます。
- (口腔外科 ・ 歯周科 ・ 補綴科)
- ・医科との連携が可能のため、精神障害、全身疾患をお持ちの方でもご相談の上、治療を受けて頂けます。

		月	火	水	木	金	土	日
受付・診療時間	午前	Dr 赤間 Dr 鈴江 (補綴科)	Dr 赤間 Dr 見立 (口腔外科)	Dr 赤間	Dr 鎌田 (大学Dr)	Dr 赤間	Dr 赤間	休診
	午後	Dr 赤間 Dr 鈴江 (補綴科)	Dr 赤間	Dr 赤間 Dr 黒嶋 (補綴科)	Dr 赤間 <small>第一本職のみ別のDrです</small> (補綴科)	Dr 赤間	Dr 赤間 Dr 吉村 (歯周科)	休診
診療時間 のお知らせ	午前	9:00 ~ 12:00			(最終受付 11:30)			
	午後	14:00 ~ 17:00			(最終受付 16:30)			
	休診	日・祝日						

小児から高齢者の方まで安心して治療を受けて頂けるよう、スタッフ一同日々精進しております。完全予約制です。お困りごと・ご相談はお気軽に歯科室スタッフへお尋ねください。

ご予約・お問合せ **TEL 095-855-0924**

9月19日～20日

デイケア年間行事の一泊研修旅行

10時20分にデイケア前で出発式を理事長、局長に行っていたいただき、中型バス1台、マイクロバス1台の送迎バスと院車のステップワゴン3台にて出発しました。

道中では、バスの中でデイケアに関するものや島原に関するクイズをスタッフで出題し、バスの中にもぎやかな感じでした。

ホテルに着くと3つのコースに分かれて行動しました。

1つ目はかんざらしコース

島原名物のかんざらしを食べに銀水というお店まで歩いて行ってきました。初めて食べたのですが、シロップが思ったより甘く感じられましたが、美味しかったです。その後、鯉の泳ぐ街ということもあり、実際にコイが泳ぐところを見に行きました。水がとてもきれいで鯉も元気に泳いでいました。

2つ目は島原城コース

ステップワゴンで島原城までいき、島原城周辺を散策し、その後、階段を登り天守閣まで行きました。その日は天気にも恵まれ熊本付近まで望む事が出来ました。

3つ目はホテルでゆっくりコース

ホテルの部屋でお茶など飲みながら話をしたり、お風呂を楽しみにされていた方は一足先に露天風呂に入りゆっくりしていました。



9月28日 日帰り温泉旅行

今回は佐世保のパラダイスガーデンに行ってきました。30名のメンバーと一緒に食事や温泉を楽しんできました。

昼食では、旬の食材を使ったマツタケの混ぜご飯、栗や洋ナシを使ったデザートなどもあり、季節を楽しめるものもありました。また、庭園も眺める事が出来楽しいひと時を過ごしてきました。ただ、バイキング形式ということもあり、好きなものをたくさん食べすぎたという方もいらっしゃいました。

昼食後には、温泉に入りリフレッシュされました。



©2018 VVN

V・ファーレン長崎の試合を見に行ってきました!

今回、デイケア活動の一環として、V・ファーレン長崎の試合観戦に行ってきました。

日頃、ミーティング等でV・ファーレン情報を話すことで、興味をもつメンバーが徐々に増えてきたようなのですが、試合会場や時間などで「応援には行けない。」という声が多い中、メンバーの期待に添える形になったのではないかと思います。

試合結果は残念ながら敗戦となりましたが、帰路の車中では、「生の試合は迫力があって楽しかった。」「面白かった。また来たい。」「連れてきてくれてありがとう。」等の前向きな声ばかりでした。今後機会があれば第二・第三回と計画し、V・ファーレン長崎のサポーターを増やすと共に、社会訓練の良い機会としたいと思います。

今回このような機会を頂き、チケットの準備など関係各所の皆様に感謝します。

ありがとうございました。





院内喫茶の「やすらぎ」の責任者、谷本順子さんからお話を伺いました。「やすらぎ」は1987年（昭和62年）に開店し、今年で32年を迎えます。谷本さんは、来年で勤務歴20年

のベテランです。

「やすらぎ」は、「売店」との兼務で8人のスタッフで運営しています。「やすらぎ」に2名、「売店」に2名交代制です。

皆さんが主婦で“主婦の作った家庭の味”として好評を博しています。

少ない人数で動いているので、大切にしていることは、「順番を守ること、チームワークを大切にしていること」やりがいは「美味しいと言ってもらえること。何度も来て下さる人がいること、和気藹々としたお客様の雰囲気もとてもいいこと」

また、お口の状態が悪い人のために、柔らかく煮たり、嫌いな野菜を外すなどの対応や、入院患者さんのお迎えで病棟に連絡を入れることもして下さっているとのことでした。

食事メニューは豊富で、定食8種類、麺類13種類（ラーメンも3種類）、丼物も4種類

人気メニューは、1位がちゃんぽん 丼物や水餃子定食、カツカレーも人気があります。定食に+100円でミニコーヒーもついており注文される方も多いです。定食の小鉢は毎日替わりです。

喫茶メニューでは、中山洋行からコーヒー豆を仕入れて、注文があったらその場で豆を挽いて出しているコーヒーがおすすめです。



患者さんも、お見舞いのご家族も職員さんも来て下さっていますのでみなさん気軽にいらして下さいね。

喫茶 やすらぎ
営業時間 10時30分～15時30分
(ラストオーダー 15時)



新メニューの
牛丼・肉うどん
も好評です。



行動制限最小化 委員会院内研修

行動制限最小化委員会では、年に2回院内研修を行っています。

数年前に好評を博した「拘束帯手技研修」を実施しました。計2回実施し、約200名（うち医師も10名）参加していただき大盛況の研修会になりました。

実際に拘束を患者さんに施す立場ですが、拘束を受ける患者さんの心身の苦痛を知るために手技を学ぶだけではなく実際に自分達も拘束を体験しました。

拘束の経験をし、当事者の立場に立つだけで、今後患者さんの声掛けの方法など勉強になりました。実際に経験できて良かったです。



精神科の福嶋先生も体験中



拘束される患者の気持ちが少しだけ理解出来たので、この気持ちを忘れず看護に当たりたいと思った。

道ノ尾病院秋祭りを終えて

去る10月11日に待望の道ノ尾病院秋祭りが開催されました。当日は台風の進路が心配されておりましたが、天気にも恵まれ、雲一つない青空となりました。フランクフルトやたこ焼、饅頭など売店が並び、店の前には大行列ができ、ステージでは虹が丘民踊部様、デイケア民踊部による民踊や保育室の園児たちによるお菓子取り競争が催され、大変賑わっておりました。

また、午後の部の仮装大会では、各病棟から、ハロウィンやサザエさんなど楽しい出し物が披露されました。優勝は、B-1病棟の「ドラえもん・のび太の秋祭り」の皆様でした。

平日の開催にもかかわらず、多くのご家族の方、地域の方に足を運んでいただきました。この場をお借りして心より感謝申し上げます。



6月17日
▼
6月21日

「アルコール治療・看護の現状を知り、病棟での患者・家族支援に活かす」 「ARPと病棟看護の連携について学びを深める」に参加して

神奈川県にある久里浜医療センターの研修には、北は北海道、南は沖縄まで約50名の看護師が参加していました。

久里浜医療センターのスタッフや参加者との交流を通じて、ARP(アルコールリハビリテーションプログラム)の内容や支援方法について学び情報交換を行いました。

久里浜医療センターは全国から入院患者が来るので、家族の負担が重く難しいそうです。他の病院でも、暴言や暴力、高齢等の理由から来院してもらえないということでした。

患者と家族が疎遠にならないよう手紙のやり取りを推奨している病院や必ず定期的に家族に来院してもらっている病院があることを知り、さまざまな支援方法があることを学びました。

この研修を通じて学んだことをARPスタッフと共有し、今後の支援に活かしていきたいと思います。

看護師 岩永 力



久里浜医療センターに研修に行かせて頂きました。

久里浜医療センターは、日本アルコール治療の先駆的存在であり、現在においてもリーダー的な病院です。業務で認知症や断酒意欲のない場合など悩むことがありましたが久里浜では病棟配分・グループ分けで改善が図れており、構造の在り方を考えさせられました。そのなかで当院のARPの形は最新のものに近いことも実感できる内容でした。

今後は自身だけでなく病棟自体の看護向上に向け得られた知識を活かしていきたいと思います。

看護師 山村俊郎



9月14日
▼
9月15日

日本ダイケア学会に参加して

去る9月14日～15日、北海道で開催された日本ダイケア学会に参加してきました。

当院では昨年度から大人のADHD専門外来を開設していますが、その中で私が担当しているダイケアでの集団プログラムについての発表をしました。発表の前後で他の参加者と活発な意見交換ができ、全国的にもADHDを持つ方へのより良い支援体制作りについて考え、試行錯誤していることを肌で感じる事ができました。

今回の学会参加を通してできた繋がりを大切にしながら、これからもADHDを持つ方々に役立つプログラム運営を心がけていきたいと思います。

ダイケア 作業療法士 扇 寿史



「ジャパネット」と就労支援事業所「かいこう」夢のタッグ

就労支援事業所ワークステーション「かいこう」は作業活動を通じて障がいを持つ方たちの社会参加と自立に向けた支援を日々、行っています。

今回、ジャパネットさんの障がい福祉事業への理解のもとV・ファーレン長崎のユニホームをリメイクした200個限定のサポーターバックを「かいこう」で作ってみました。お見かけの際には「こん、リメイクバックは“かいこう”の人たちが丹精込めて作りよるとげな！かっちょよかな・・・」とつぶやいてくれる事を願ってます。



©2018 VVN



©2018 VVN

「ALL! V・ファーレン」のテレビ取材が来たあ!

8月31日に放送された長崎国際テレビ「NIB」のV・ファーレン長崎応援番組の取材を受けました。慣れないTV撮影とインタビューだったけど思い出となる楽しい時間を過ごすことができました。

ここでさらに出演した「作り手」の思いを寄せてつぶやいてもらいました。

「かいこう縫製作業のエース Tさん」

手の込んだ作業でミシンを操るのも大変だあー。200個目指して頑張ります。



「笑顔が絶えない Kさん」

V・ファーレンの選手の顔を思い浮かべながら頑張ってます。頑張れV・ファーレン



©2018 VVN

「職業指導員 Iさん」

まさかのV・ファーレンとのタッグ！最高のクオリティー目指して職人技を見せたいと思います。



©2018 VVN

道ノ尾病院はV・ファーレン長崎を応援しています



医療法人厚生会

- 道ノ尾病院 ○虹が丘病院
- みちのおメンタルクリニック
- 宿泊型自立訓練事業所 ふれあい
- 就労継続支援B型・就労移行 ワークステーションかいこう
- 訪問看護ステーション すみ香
- ヘルパーステーション にじいろ
- 相談支援事業所 にじいろ ○居宅支援事業所 にじいろ
- れいんぼうハウス滑石

社会福祉法人新生会

- 特別養護老人ホーム 望星荘
- 障害者支援施設 虹が丘学園

【医療法人厚生会 道ノ尾病院ホームページ】

<https://www.michinoo.or.jp>

道ノ尾病院

検索



モバイルの方



スマートフォンの方



パソコン・スマートフォン向け

道ノ尾病院 新着情報通知のお知らせ

道ノ尾病院HP上に出るポップアップを通知許可していただくと以降、新着更新情報をプッシュ通知で受け取ることが出来ます！

パソコンやアンドロイド端末はアプリ不要で直接プッシュ通知を受け取ることが可能です。

※iOS端末(iPhone・iPad)は「みんなのお知らせ」アプリをインストールし、お知らせ通知を許可するだけで以降、直接プッシュ通知を受け取ることが可能です。



通知許可ボタン表示